

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 37 号:2015 年 7 月－8 月期】

- * 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

経済概況

2015 年上半期 GDP は、前年同期比 8.1%増の 72 兆 1,730 億スムであった

国家予算の執行状況は GDP 比 0.2%の黒字であり、貿易高は 126 億ドル (0.5%の伸び) となり、うち輸出が 63 億 5,900 万ドル (7.4%増加)、輸入が 62 億 7,500 万ドル (5.7%減少) であった。貿易黒字は 8,340 万ドルとなった。

2015 年上半期の固定資本投資総額は、18 兆 699 億スム (73 億ドル) であり、2014 年同期比 9.8%の増加である。うち中央政府による投資が 3 兆 6,111 億スム (総額の 20%)、地方政府・各種基金等による投資が 14 兆 4588 億スム (同 80%) であった。

市中銀行による実体経済向け融資額は 30.5%増加した。これらの融資の総額の 79.7% は投資目的の長期融資であった。

投資・金融セクター

ウズベキスタンと世界銀行が民営化ロードマップに調印

同文書は、ウズベキスタンの株式会社が先進的なコーポレートガバナンスの方法を導入する上で支援することを目論んでいる。

両者が共同作業を行う分野としては、世界銀行の支援のもとで、まずタシケントにある「コーポレートガバナンス学術教育センター」の拡充を進めること、また、ウズベキスタンの実体経済部門の企業に戦略的に投資する外国人投資家を呼び込むことがすでに決まっている。

ウズベキスタンのカリモフ大統領は今年 5 月、国有資産を外国人投資家向けに売り出すことが予定されている 68 企業のリストを承認している。同リストには、ナヴォイアゾット (Navoiyazot) 株式会社 (株式の 49%)、フェルガナアゾット (Farg'onaazot) 株式会社 (同 48.05%)、今後新たに設立される 2 つの農機製造企業 (それぞれ、同 49%)、キジルクムセメント (Qizilqumsement) 株式会社 (同 35.9%)、銀行 2 行 (企業支配株式) をはじめとする多くの大企業の資産が含まれている。

ナヴォイアゾット株式会社と三菱重工・三菱商事で構成される日本企業コンソーシアムがアンモニア・尿素製造プラント建設契約を締結

契約は「ターンキー」条件で締結され、事業総額は 10 億ドルを超える。

計画ではプラントの建設は 2015 年下半期に始まり、2019 年に完了する。プラントの生産設備能力は、アンモニア年産 66 万 t、尿素同 57 万 7,500 万 t となる。同プロジェクトが実現すれば、ナヴォイアゾット第 1 期および第 2 期分として建設され、1965 年から 1967 年にかけて稼働を開始し、現在では旧式となり損耗が激しいアンモニア製造設備の廃棄が可能となり、化学肥料製造用のアンモニアの安定的生産、アンモニア生産に要するエネルギー消費の削減が可能になる。

資金調達源としては、ウズベキスタン復興開発基金の融資資源およびナヴォイアゾットの自己資金が決まっている。さらに日本の国際協力銀行（JBIC）の融資資源を呼び込むことができないか検討がなされている。

韓国国際協力団（KOICA）と国営ウズベキスタン航空がタシケント空港新ターミナルの建設に向け準備を開始

7 月 26 日から 8 月 2 日にかけて、タシケント国際空港新旅客ターミナル（「タシケント - 4」）建設プロジェクトに関する FS レポート作成に向けた事前調査を行う目的で、KOICA の専門家グループがウズベキスタンを訪問した。同グループは、航空政策、空港経営、建設、財務分析その他の分野の専門家で構成されていた。

タシケント空港新旅客ターミナル建設に関わる FS レポート作成事業の実施を見込んだ覚書は、ウズベキスタンのカリモフ大統領が今年 5 月に韓国を公式訪問した時に調印された。本年 9 月に FS レポート作成事業に関する政府間協定が締結された後、同事業の実施業者を選定する運びとなっている。FS レポート作成は 2016 年に開始の予定。

輸送セクター

2016 年から 2017 年にかけて総延長 397km に及ぶ「ナヴォイーカニメフーミスケン」鉄道路線が新規に建設される予定

新線は、ブハラ州、ホレズム州 およびナヴォイ州、さらにカラカルパクスタン共和国の潜在力を最大限かつ効果的に発揮させるために建設される。

新線建設事業は二段階で実施される。第 1 段階（2016～2017 年）ではディーゼル機関車が牽引する列車を運行するためにこの区間を建設する予定。第 1 段階の費用は 2 億 8,310 万ドルで、資金は国内の資金源から調達される。第 2 段階（期間と費用は追って確定する）ではこの区間を電化する計画。

新線はミスケン駅で「ナヴォイーウチュクドゥクスルタヌイズダググーヌクス」鉄道路線とつながり、ウズベキスタンから北の方面への荷動きを拡充することが可能となる。

「ナヴォイーウチュクドゥクスルタヌイズダググーヌクス」路線は 1996 年から 2001 年にかけて建設され、総延長 342km に及ぶ。この路線はトルクメニスタンの領土を迂回してウズベキスタンの 2 つの西部地域、ナヴォイ州とカラカルパクスタンを結びつけた。

自動車セクター

合併企業 GM Uzbekistan のロシアにおける 2015 年上半期の売上が 57%減少

本年 1～6 月期、ロシア市場での GM Uzbekistan 製自動車の販売台数は、1 万 357 台であった。2 万 4,019 台の売上があった 2014 年上半期と比較して売上高は 57%低下した。

2015 年 6 月単月では、ロシアにおける販売高は 1,735 台となり、3,131 台の売上があった 2014 年と比べ減少率 45%であった。2015 年 7 月の自動車販売もまた前年 7 月比で 41%減少し、1,672 台となった。

GM Uzbekistan のロシア市場における 1～6 月期のシェアは昨年同期の 2%と比較して 0.7 ポイント縮小し、1.3%となった。ロシア市場における 6 月の自動車販売高で同社は 19 位を占めた。1～6 月期、各メーカーはロシア市場で合わせて 78 万 2,000 台の自動車を販売したが、これは 120 万台を超えた 2014 年上半期と比べて 36.4%の減少であった。

GM Uzbekistan は 2015 年上半期 11 万 9,412 台の自動車を生産したが、これは 2014 年同期比 6.5%の減少である

ウズアフトサノアト株式会社は生産縮小の原因を明らかにしていない。2013 年には総数 24 万 5,600 台の車が生産（そのうち輸出は 9 万 800 台）され、2014 年には 24 万 6,600 台の車が生産（同 5 万 5,200 台）されている。

ウズアフトサノアトと韓国の INZI AMT Co. , Ltd. が GM 車のエンジン用のアルミニウム部品を高精度ダイカスト法で生産する工場を新規に建設することで合意

計画では、工場は 2017 年 1 月 1 日に操業を開始する。総費用は 1,320 万ドルとなる見通しであり、そのうち 150 万ドルを韓国側が投資する。年間生産能力は部品キット 15 万個に達する見込み。新工場は、GM Powertrain Uzbekistan 社のすでに操業中の自動車エンジン製造工場の敷地の区画に置かれることになっている。

同プロジェクト実施のため、合併企業 UZAUTO-INZI が設立された。定款資本は 1,000 万ドルで、持分はウズアフトサノアトと INZI AMT Co. Ltd. との間で均等に配分される。INZI AMT Co. Ltd. は自社のアルミニウム部品製造技術とノウハウを提供する。

アングレンで自動車タイヤ製造工場の建設に着工へ

工場の建設については、2013 年ウズベキスタン共和国大統領決定 PP-2269 号「アングレン自由産業特区に工業用ゴム部品製造工場を建設するための措置について」によって決定済み。

同プロジェクトは今年末までに着工される予定であり、総費用は 1 億 8,396 万ドルとなる。建設は中国の Poly Technologies Inc. が請け負う。新工場では年間、コンベヤーベルト延べ 10 万メートル、農業機械用タイヤ 20 万本、自動車用タイヤ約 300 万本を生産する予定。自動車用タイヤは GM Uzbekistan の自動車工場の製造工程で使用される。

ウズベキスタン・韓国合弁企業 Uz-Dong Yang Co. がロシアの GAZ グループと自動車部品の供給に関して協議中

両者はとりわけ、GAZ の新型普通トラック向けの天井パネルその他のプラスチック部品をロシアに供給することが可能であるかどうかについて討議している。Uz-Dong Yang Co. はまた、ロシア、アゼルバイジャン、カザフスタン、トルクメニスタンおよびウクライナにおけるウズアフトサノアットのディーラー各社向けに自動車の内装部品の供給を開始することを計画している。メディアが Uz-Dong Yang Co. 広報の発言を引用して伝えたところによると、同社は中国の Ning-bo 社とも自動車部品の供給に関する話し合いを進めている。